

## 工事店様用 施工・設定要領書

- スプリンクラー制御盤を正しく施工・設定していただくために、設置工事をする前に本書をよくお読みください。  
(本書はスプリンクラー制御盤の施工・設定方法を記載しています。)
- 施工後は本書を大切に保管してください。
- 機器の操作方法は取扱説明書(TN60054)をご確認ください。

### 安全上のご注意

安全にお取り付けいただくために、下記の **警告** **注意** を必ずお守りください。

#### 警告

内容を守らなかった時に、取扱関係者が死亡または重傷を負うか、防災機能に致命的な悪影響を及ぼすことが想定される場合。

#### 注意

内容を守らなかった時に、取扱関係者が傷害を負うか、物的損害が発生する危険な状態が生じる可能性がある場合、または防災機能の一部に悪影響を及ぼす可能性がある場合。

#### 警告

電源の配線工事は、「電気工事士」の資格のある方が行ってください。資格のない方の工事は、感電・故障・発火の原因となります。

設置する際には、消防設備士甲種第1類の有資格者の指導のもと設置する必要があります。

電源はAC100V専用です。それ以外の電源に接続しないでください。故障・発火の原因となります。

ヒューズは必ず決められた容量のものを使用してください。故障・発火の原因となります。

予備電源は絶対に極性を間違えないように接続してください。予備電源の発熱・破裂などの原因となります。

電源供給ブレーカーは、不用意に遮断されないよう他の電気器具用とは別にし、専用のブレーカーとしてください。

コンシールドヘッド、スプリンクラー制御盤、電動弁ユニットの監視区域を一致させる様に信号線を接続してください。一致していない場合、火災時に放水されません。

スプリンクラー制御盤の内部ケーブルの抜き差しなど、機器の分解や改造は行わないでください。故障の原因となります。

#### 注意

本機器を設置するときは、その質量に十分耐えるように、強固に取り付けてください。安易な取り付けは脱落などによる故障やケガのもととなります。

信号線は低圧屋内配線(AC100V、200V)とは30cm以上離してください。誤作動の原因となることがあります。

配線の被覆をむくときに、銅線にキズを付けないでください。銅線がおれて差込端子から取れなくなることがあります。

配線被覆のむき長さは指定とおりにしてください。  
(AC電源線：13～14mm、信号線：8～9mm)  
接触不良や短絡事故の原因となることがあります。

本体の周囲にある放熱口をふさがないようにしてください。製品内部の温度が上昇し、誤作動などの原因となります。

電源線や信号線を接続する時にはブレーカを遮断し、予備電源を外してから行ってください。けが・火傷などの原因となります。

各端子への外線接続は所定の定格容量・極性に従って正しく行ってください。故障・発火などの原因となります。

濡れた手で制御盤の内部等に触れないでください。故障・感電などの原因となります。

予備電源を取り付ける際に電極を短絡させないよう注意してください。けが・火傷などの原因となります。

### 梱包箱内の部品

梱包箱の中には次の部品が入っています。梱包箱を開けた際にはまず、部品が揃っていることを確認してください。

- スプリンクラー制御盤本体・・・・・・・・・・1台
- 予備電源・・・・・・・・・・・・・・・・・・1個
- お客様用取扱説明書(TN60054)・・・・・・・・1部
- 施工設定要領書(本書)・・・・・・・・・・1部
- M4ネジ・・・・・・・・・・・・・・・・・・4本
- 付属品セット(ヒューズ3個、キャップ3個)・・・1セット
- コンシールド点検磁石・・・・・・・・・・1個

### 設置場所

故障・誤作動を防ぐため次の場所に設置してください。

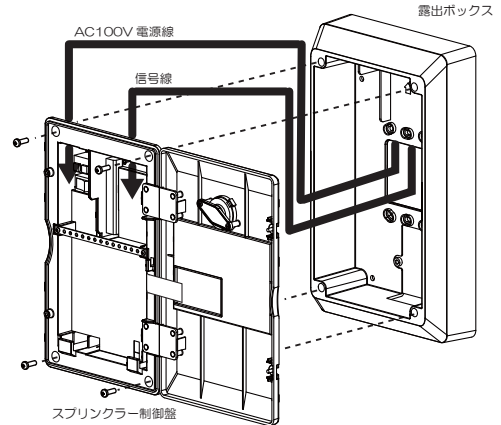
- 直射日光のあたらないところ
- 暖房やボイラーなどの熱風が直接あたらないところ
- 水滴・蒸気・ほこり・腐食性ガスなどがかからないところ
- 振動の少ないところ
- 強い電波を発生する装置などのないところ
- 周囲に操作上の支障となる障害物のないところ
- 常に人がいて、様子を確かめられるところ
- 周囲温度が0℃～40℃のところ

### 施工方法

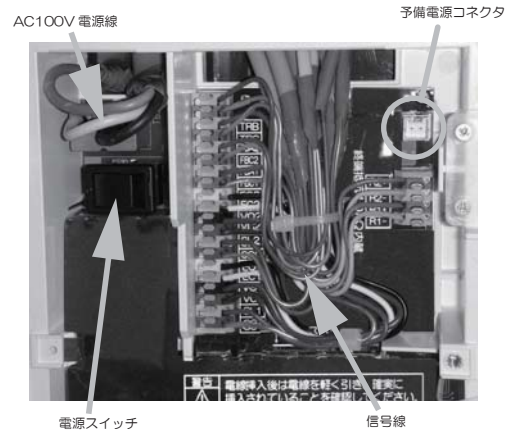
露出型を例にスプリンクラー制御盤本体の取付方法を記載します。

#### ① スプリンクラー制御盤を露出ボックスに取り付けます。

- ・スプリンクラー制御盤の各入線孔より配線を引き込み、スプリンクラー制御盤に付属のM4ネジにて固定します。
- ・露出ボックス内に印字されている”上”は指示通り上部になっていることを確認してください。



#### ② 接続図を基に AC100V 電源線、信号線を端子台に挿入してください。



#### 結線例

※信号線が長過ぎる時、カバーが開まらない場合があります。写真の様に適度に配線を束ねるなどしてください。

#### 注意

端子台挿入後は電線を軽く引っ張り、確実に固定されていることを確認してください。

#### ③ 機能を設定します。

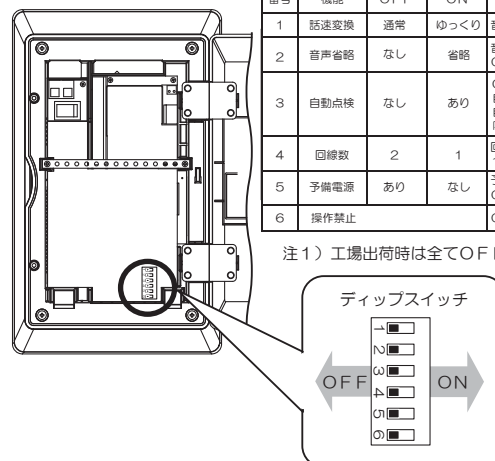
- ・本機はディップスイッチの切り替えにより機能の選択が可能です。以下を参考に用途にあった設定をしてください。
- (注) 設定は機器の電源をONにした際に認識されます。

#### 注意

この設定は電源OFFで行ってください。

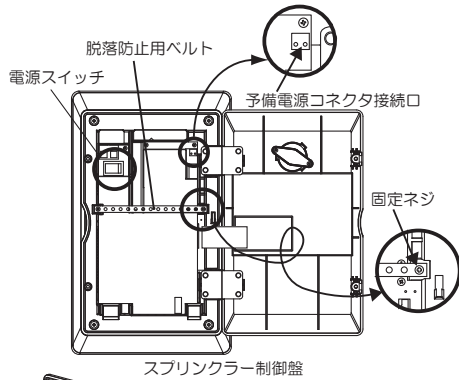
番号	機能	OFF	ON	備考
1	話速変換	通常	ゆっくり	音声速度を変えられます。
2	音声省略	なし	省略	音声のON/OFFを変えられます。OFFで使用してください。
3	自動点検	なし	あり	ONにするとは4回電動弁が自動的に開閉します。自動点検は法定点検の代替にはなりません。自動点検で電動弁が自動的に開放すると、配管内に水が入ります。
4	回線数	2	1	回線数を設定します。1回線の場合はONにする。
5	予備電源	あり	なし	予備電源の有無を確認します。OFFで使用してください。
6	操作禁止			OFFで使用してください。

注1) 工場出荷時は全てOFFです。

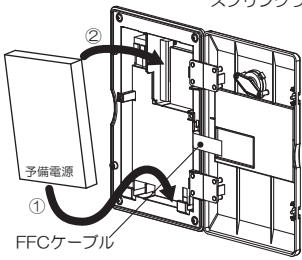


#### 4 予備電源を取り付けます。

- ・脱着防止用ベルトの固定ネジ（右側）1本を取り外し予備電源を取り付けます。
- ・外した固定ネジにて再度、脱着防止用ベルトを取り付けます。



スプリンクラー制御盤



#### 注意

予備電源挿入時、FFCケーブルをつぶさないように注意してください。

#### 5 電源を投入します。

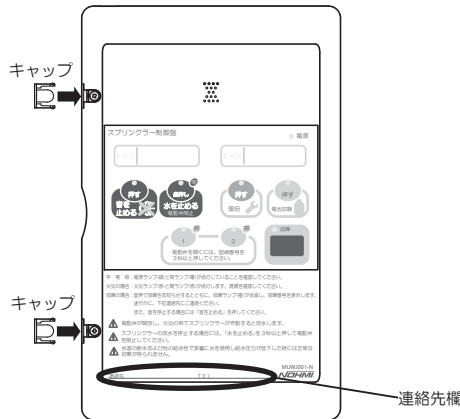
- ・電源投入時の時刻の設定については、取扱説明書（TN60054）をご参照してください。

#### 注意

電源の投入は、予備電源コネクタを接続した後、行ってください。ただし、予備電源のみの使用は行わないでください。時間経過とともに予備電源の容量が低下し、設備が正常に作動しません。電源を落とす時は、電源を切ってから、予備電源コネクタを外してください。施工完了時は電源を投入し、必ず時刻設定を行ってください。時刻が未設定の場合、エラー表示がされないため、設備が正常か確認できません。

#### 6 スプリンクラー制御盤のカバーを閉じ、ネジ閉めを行い、キャップを取り付けます。

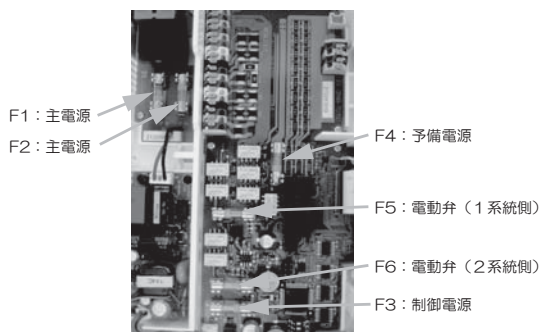
- ・スプリンクラー制御盤下部の連絡先欄に工事店（販売店）の連絡先を記載します。



#### ヒューズの交換

時刻設定後、エラー表示が出た場合、取扱説明書（TN60054）を参照してください。また、エラー表示「E0、E2またはE3」の場合、制御盤内のヒューズが切れている可能性もあります。下記を参考に該当するヒューズを確認し、必要に応じて交換してください。

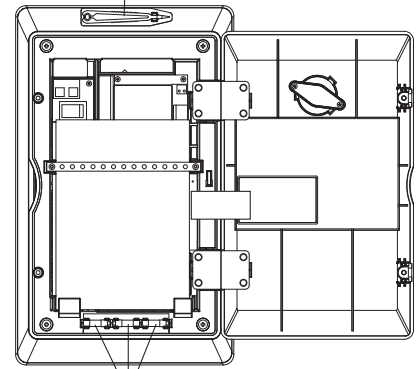
エラー表示	ヒューズ番号
E0	F4（予備電源）
	F1（主電源）
E2	F2（主電源）
	F3（制御電源）
	F5（電動弁（1系統側））
E3	F6（電動弁（2系統側））



#### 注意

ヒューズの交換は必ず電源スイッチをOFFにし、予備電源のコネクタを外した状態でヒューズ抜き工具を使用して行ってください。

ヒューズ抜き工具

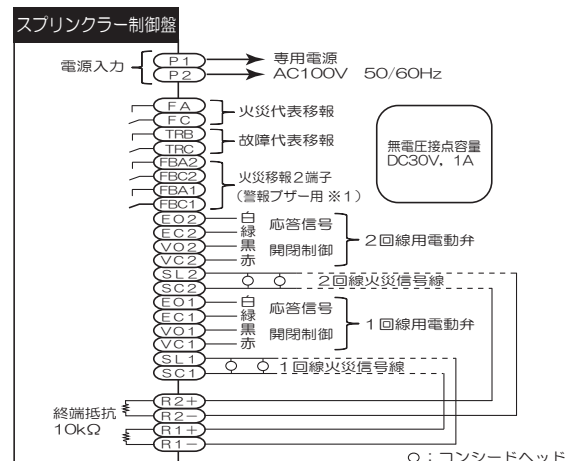


予備ヒューズ（1A、PSE取得品）

#### 機器仕様

型名	MUWJ001-N
電源電圧	AC100V 50/60Hz
予備電源	DC24V 0.45Ah
消費電力	15VA
音量	70dB(1mにて)
終端抵抗	10kΩ 1/4W以上
主材料・色	難燃ABS樹脂・ビュアホワイト
寸法	幅150×高さ240×露出部奥行17mm(埋込型)
質量	約1.0kg
使用環境	室温0~40℃ 相対湿度85%以下 ただし結露のないこと
入力	火災信号 2L 電動弁応答信号 2L
出力	電動弁開閉制御 2L 火災移報2端子 2L(無電圧 a接点, DC30V 1A) 火災代表移報 1L(無電圧 a接点, DC30V 1A) 故障代表移報 1L(無電圧 a接点, DC30V 1A)

#### 接続図



注1) 電動弁の接続台数は各回線1台です。  
注2) 電動弁は指定のものを接続してください。(MVCJ004-25)  
※1) 火災移報2端子は「音を止める」ボタンを押すと火災信号を遮断します。

#### NOHMI

流美防災株式会社

本社 / 〒102-8277 東京都千代田区九段南4-7-3 消防館東館 TEL 03(3265-0283)  
支社 / 北海道 011(746-6911) 東北 102(221-2695) 新潟 025(243-8121) 丸の内 03(3213-1781)  
茨城 029(225-2600) 千葉 043(266-0303) 北関東 048(669-2255) 西関東 042(643-1520)  
横浜 045(682-4700) 長野 026(227-5521) 静岡 054(247-3211) 中部 052(915-2411)  
金沢 076(252-6211) 大阪 06(6330-8661) 京都 075(694-1192) 中国 082(510-1125)  
岡山 086(244-4222) 九州 092(712-1560)  
営業所 / 旭川 01166(35-7824) 青森 017(729-0532) 盛岡 019(645-0552) 秋田 018(862-5086)  
郡山 024(947-1194) 福島 024(528-4195) 羽田 03(5757-9393) 渋谷 03(3461-1051)  
杉並 03(3306-0451) 横浜 03(3626-2461) 五反田 03(3779-9737) 土浦 029(522-3951)  
宇都宮 029(337-4317) 群馬 027(329-1567) 埼玉 049(247-4640) 川崎 044(233-5773)  
沼津 055(923-9669) 浜松 053(473-3422) 三重 059(226-9860) 富山 076(444-1450)  
福井 0776(21-0056) 神戶 078(334-3581) 四国 087(868-6811) 北九州 093(583-3344)  
長崎 095(845-0135) 大分 097(543-2778) 熊本 096(360-1051) 宮崎 098(5128-8792)  
鹿児島 099(253-8196) 沖縄 098(862-4297)  
工 場 / 三 重 042(244-5141) ×ママ 048(588-1531)

URL http://www.nohmi.co.jp